

同軸ケーブルによるアナログ／デジタル伝送方式

Analog and digital coaxial cable transmission systems

大容量化のため信号電流の周波数を高くすると、平衡対ケーブルでは漏話量が増え、また減衰も大きく実用にならない。そこで高周波でも漏話問題がなく、損失が比較的少ない同軸ケーブルを使用する方式が登場した。同軸ケーブルによる伝送方式はアナログ960通話路から始まり、アナログでは60MHz10,800通話路、さらにデジタル化されて400Mbpsという高速大容量を実現した。

標準同軸ケーブル（1956年～）

Standard coaxial cable (since 1956)

細心同軸ケーブル（1962年～）

Small-diameter coaxial cable (since 1962)